

1. 研究者になろうとしたきっかけ

外科医師として働いているときに、根治術をしても再発して治らないがん患者さんを目の当たりにしたことです。

2. 助成研究の内容紹介

がんの原因となるような危険なゲノム異常を持つ細胞が増えていかにないように、細胞老化という増殖を不可逆的に停止させる仕組みがあります。細胞老化をおこしたときに、本来核にあるべきゲノム断片が細胞質にみられることが分かってきており、その分子メカニズムと発がんにつながるゲノム不安定性を研究することで、がんの発生機序を明らかにしようとしています。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

2で発がんの原因を突き止めることで、脳出血を予防するために血圧をコントロールするように、発がんを予防するために老化細胞をコントロールすることが目標です。

4. 全国のRFL関係者に一言

本研究助成に採択頂きまして、心より御礼申し上げます。がんの新規予防・治療法開発のブレークスルーを目指して基礎研究側から尽力してまいります。